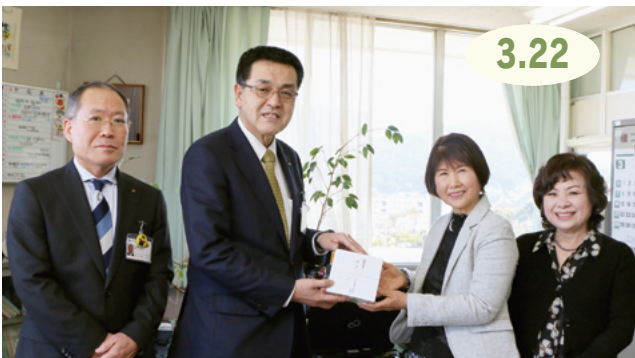


みんなの広場

小学校新1年生への鉛筆削り器贈呈

たくさん勉強し、たくさんの鉛筆を削って

未来を担う小学校新1年生のクラスに、伊万里商工会議所女性会が鉛筆削り器を各1個(計22個)贈呈しました。教育の一助として活用してもらうため毎年続けていて、今回で9回目。松本定教育長に鉛筆削り器を渡した大島明美会長は、「子どもたちには、コロナ禍でも人とのつながりを大切に、頑張してほしい」と希望を託しました。



↑小学校に要望をとった結果、今回も鉛筆削り器を松本教育長(左から2人目)に贈呈

食の大切さを伝える絵本『モグモグちゃん』を贈呈

周りには応援してくれる人たちがいるよ

小学校に入学する新1年生に、苦手なことでも勇気を持って挑戦してほしいという思いを伝えるため、竹内典子さん(松島)と岩永豊子さん(栄町)が、市に自費出版の絵本『モグモグちゃん』550冊を贈りました。孫の入学祝いのためと制作していましたが、コロナ禍での明るい話題にしたいと思い、新1年生全員に贈ることにしました。



↑竹内さん(中央)が30年前につくった童話をアレンジし、岩永さん(右)がイラストを描いて制作

性被害防止絵本『おしえて!くもくん』を寄贈

性被害の予防教育に役立てて

市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』が、市内小学校・義務教育学校と市民図書館に絵本『おしえて!くもくん』を寄贈しました。この絵本は、性被害の予防教育に取り組む警察庁の女性官僚たちが、子どもたちを性被害から守るため制作したもので、昨年10月の男女協働参画フォーラムでの講演で紹介されたことから選定しました。



↑「子どもたちは、困ったときには先生や保護者にSOSを出してほしい」と話すいまりプラザの川原フジエ会長

絵本『おかねってなぁに?』を寄贈

明るい未来をつくるため

伊万里商工会議所青年部が、市内小学校・義務教育学校と市民図書館に絵本『おかねってなぁに?』を寄贈しました。お金の仕組みを通して、みんなが幸せに、豊かな暮らしができる社会を作ること学ぶ本で、日本商工会議所青年部が企画し、発行。市の青年部上原泰三会長は、「お金のことを学び、人生に役立ててほしい」と話しました。



↑「この絵本が、新紙幣の図柄になる『渋沢栄一』に興味を持ってもらうきっかけとなれば」と語った上原会長(右)